

# 東吾妻町 議会だより

第60号  
みんなの議会  
2021.2.1



上：太田スケート場（1月16日／岩井親水公園）／下：植栗地区どんど焼き（1月14日）

## 今号の内容

- 12月定例会で決まったこと…………… 2
- 7議員が町政を問う一般質問 …… 8
- 各委員会からの活動報告…………… 16
- まちの声…………… 18



# 令和2年 12月定例会で決まったこと

会期：12月4日～15日（12日間）

## 12月定例会に提出された議案など

●町長からは14件（条例関係5件、補正予算4件、指定管理者の指定4件、契約締結1件）の議案が提案され、いずれも原案どおり可決されました。（議案などの審査結果については、15ページの表をご覧ください）。

なお、町政一般質問には7人の議員が登壇して町政をただしました（8から14ページをご覧ください）。

### 令和2年度一般会計補正予算が可決されました

歳入歳出にそれぞれ1億619万7000円を追加し、総額をそれぞれ103億8616万8000円としました。

### 東吾妻町豊かな自然環境の保全及び利用の手段等に関する条例

開発行為が、美しいふるさとの景観や地域の暮らしに著しい影響を及ぼさないよう、必要な基準

のではなく、罰則規定はない。

**議員** 第1条を読むと、自然環境の保全を行うことが、この条例の目的に入っているのか。

**企画課長** 開発行為の適正な施行を確保すること、無秩序な開発を防止し、ひいては東吾妻町の美しい景観や自然環境を保全するという目的である。

**議員** この条例の対象となる太陽光発電施設は30キロワット以上とあるが、どのような考え方でこの規模にしたのか。

**企画課長** これまで太陽光発電関係での申請は、ほとんどのケースが30キロワット以上だった。また、県内の他市町村の状況では一番多いのが10キロワットから30キロワットの規定ということで、参考にした。

**議員** 30キロワット以上とすると、個人で荒廃山林や、耕作できない農地等を転用し、太陽光発電

によって、集落周辺の荒廃防止を考えると、思ひつかかってしまうと思うが。

**企画課長** 太陽光発電施設が駄目だという条例目的ではなく、防災対策、雨水の流末の処理等が適正になされているか、町に申請してもらい、承認をするのが目的で、農地転用しての開発を妨げる目的ではない。

**議員** 景観や自然環境、あるいは山林を守っていくための条例等は考えていないのか。

**町長** これについては、この条例制定の後の取り巻く状況等も考えながら、協議・検討していきたい。

**議員** 太陽光発電をある程度抑制させるといふ趣旨だと考えるが、景観を守るべき地域と、耕作放棄地や荒廃山林など開発する部分とを、ある程度ゾーニングを計画するべきでは。

**町長** 大きな面積のゾー

### 質疑

を定めて土地利用の調整を図り開発行為の適切な施行を確保し、自然環境の保全と無秩序な開発を防止するものです。

**議員** この条例は、開発行為に対し一層の制約を課すという考えなのか。

**企画課長** あくまでも事業者に対し任意の協力を求めるというもので、勧告等の行政指導に従わない場合は、その旨を公表できるという規定。制裁的な意図をもって行つても

## 令和2年度 補正予算一覧

会計名	補正額	予算総額
一般会計	1億619万円	103億8616万円
国民健康保険特別会計(事業勘定)	84万円	18億1655万円
国民健康保険特別会計(施設勘定)	548万円	8381万円
後期高齢者医療特別会計	118万円	2億951万円
介護保険特別会計補正予算	132万円	18億2908万円

※ゾーニングとは、空間を目的や用途に分けて考えることをゾーニングと言います。

### 一般会計補正予算一覧(主なもの)

会計名	補正額
保育所運営事業費(工事請負費等)	1313万円
商工業対策事業費	1149万円
観光管理費	3298万円
道路維持費	1184万円

**議員** 高さが10メートル以上の建築物も規制対象となつてはいるが、15メートルを超えれば県の規制となるので、10〜15メートルが当町の規制の範囲と聞いた。県の規制は、この条例ほど厳しくない。これをふまえ、今後見直しを検討しないのか。

**企画課長** 高さ規制を行う

う目的は、近隣住民の日照権等の問題で、トラブルにならないよう、事前に地権者の同意を得るよう条例で規定している。見直しは、必要に応じて検討していきたい。

**東吾妻町町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例**

地方自治法の改正により、町長等が町に対して負う損害賠償責任について、職務を行うにあたって善意でかつ重大な過失がないときは、賠償責任を限定して、それ以上の額が免責されるようになります。

#### 物品購入契約の締結

老朽化した庁用マイクロバスを更新するための購入契約。

● 契約金額：

912万4590円

● 契約相手：群馬日野自

自動車株式会社 吉岡テクノ  
センター工場長 小倉章  
(吉岡町)

#### あづま温泉桔梗館の指定管理者の指定

あづま温泉桔梗館の指定管理者を決定しました。

指定管理者：ライジン  
グプロモーション株式会社  
(渋川市赤城町敷島44番地)

代表取締役 須田 公次  
指定期間：令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

#### 質疑

**議員** この指定管理者の更新は何回目になるのか。  
**まちづくり推進課長** 3回目の更新になる。

**議員** 2回目の更新のときも、同じように公募によらず選定だった。今回も特例を使っているのはなぜか。  
**まちづくり推進課長** ライジングプロモーションに

は、地域の皆さんと協力した地域福祉の向上や、カラオケ忍者紅白歌合戦等、町の事業についても協力いただいております。引き続きお願いをしたい。

**議員** それでは、公募による選定はどういう状況の時行うのか。

**まちづくり推進課長** 町から施設の運営に対して改善等をお願いした際等に、十分な改善が見られない場合には公募になるものと考えます。

**議員** 何も問題がなくても、ある程度の年数で公募はすべきと考えるが。そしてまた同じ業者が選ばれるならそれで良いのでは。いい意味で公募をして、競争を行いよりよい経営者に運営してもらおう。そう考えてもらいたい。

**町長** ご意見は理解した。今後も、適正な運営ができるよう、努力をしていく。

## あがつまふれあい公園 の指定管理者の指定

あがつまふれあい公園の指定管理者を決定しました。

指定管理者：株式会社ACC（東吾妻町三島6999番地1）

代表取締役 田中 宏

指定期間：令和3年4月1日から令和6年3月31日まで

### 質疑

**議員** これは何回目の更新か。

**まちづくり推進課長** 今度の契約で3回目の契約になる。

**議員** なぜ公募でなく、ACCでなければならぬのか。

**まちづくり推進課長** 地元で組織された株式会社ACCだが、直売所は150件を超える農家との連携を結んでいる。また、収益施設の売上を1円でも伸ばす新商品の開発など

も取り組んでいる。町と連携をして吾妻峡周辺地域の観光振興等に尽力いただけると判断した。

**議員** 審査委員会から収益性のある部門については、なお一層の経営努力を求めるコメントが付されている。直売所の収益は赤字なのか黒字なのか。

**まちづくり推進課長** 赤字になっている。

**議員** 経営計画、経営努力の計画等はどようになってくるか。

**まちづくり推進課長** 協議

の中では、客の減少する時期に新しい商品の開発等を行い、モニタリングでは新しい食事メニューの開発を行っている。また酒類の販売等にも踏み出し、リピーターを増やす努力をしている。

**議員** 他の業者でも良いと思う。ある程度の年数で、ある一定の条件で公募を行っていく。そういうことが必要だ。

**町長** ACCについては、

地元の住民が組織をしている事業体であり、あがつまふれあい公園は地域として大事な施設であるので、今後とも町と事業者と互いに協力をしながら業績が上がるよう努力していくべきと考える。

## すこやかセンター福寿 草の指定管理者の指定

すこやかセンター福寿草の指定管理者を決定しました。

指定管理者：社会福祉法人 東吾妻町社会福祉

協議会（東吾妻町川戸233番地1）会長 山野 進

指定期間：令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

## 東吾妻町いわびつ体験 農園の指定管理者の指定

東吾妻町いわびつ体験農園の指定管理者を決定しました。

指定管理者：株式会社

フォレスト（神奈川県足柄下郡湯河原町城堀207番地）

代表取締役 石田 浩二  
指定期間：令和3年4月1日から令和6年3月31日まで

### 質疑

**議員** この議会中、株式会社フォレストより、選定委員会に提案をした内容と同様の対応ができなかったとの相談が、担当課へあったと聞いたがそれは事実か。

**町長** 担当課に、相談があったと聞いている。

**議員** 株式会社フォレスト側は、提案の中に農福連携ということをやっていたが、いわびつ体験農園の大口利用者である福祉施設から、来年度はいわびつ体験農園を使うことができないという連絡があった。提案内容の農福連携が困難になってしまったということで、相談があった。選定委員

## 59号の訂正

昨年11月発行の「東吾妻町議会だより みんなの議会」第59号、7ページの本文1段目のまちづくり推進課長の答弁「7000万円程減額して約6300万円」は、「約7000万円程の額を、減額して約6300万円」の間違いでした。以上の点について、訂正してお詫びいたします。

会でも出されたB判定は、現在でも同じ判定が出るか定かでないことになる。この案件は再度選定委員会に諮るのが筋ではないか。

**町長** フォレストについてはこれから提案に際しては農福連携に向けて、実際に作業をする相手を見つけているか、フォレストが実際に直接的に管理を行うのが筋であると考えている。今後、運営に行き詰まっ

て辞退等の申出があれば、その時点で改めて公募を行い、新たな候補者を指定することになる。

**農林課長** あくまでも農園を管理することが大目的。どうしても福祉関係の方がいなければ、直接フォレストが作業をしなから農園を適切に管理してもらえればよい。

**議員** 農福連携が、管理の中で年間通してどのぐらいウエイトを占めているのか、教えていただきたい。

**農林課長** 4月1日から11月30日の間、維持管理の一部を委託したいと届けがあり、町として承認した。  
**議員** 農福連携は良いことだが、できない部分についてはフォレストが責任を持ってやるということとで良いのではないか。  
**農林課長** 体験農園などで、フォレストには農園をきちんと管理する努力をしてもらいたい。

## 反対討論

井上日出来議員

この議案は、本来一旦撤回し、当該施設の指定管理者を公募すべきである。公募の結果、募集がなければ、株式会社フォレストと、何ができて何ができないのかという明確な内容を協議し、その資料を議会に提示した上で、再度議会に諮るべき。よって、この議案に対して反対する。

※その他決まったこと  
■東吾妻町特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
■東吾妻町国民健康保険条例の一部を改正する条例  
■東吾妻町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例

## 令和2年第3回臨時会

(11月26日～27日) で決まったこと

### 議員や特別職、職員の給与等が改正されました

人事院勧告に準拠し、

また群馬県人事委員会の勧告も考慮して、議会議員、特別職の常勤職員、職員、会計年度任用職員の期末手当の改正が行われます。

議員や特別職、職員の給与等が改正されました

学生が一人一台使用する端末の購入契約。納入期限は令和2年12月25日

●契約金額：2825万3016円

●契約相手：東日本電信電話株式会社群馬支店

支店長 徳永 健太郎 (高崎市)

### 工事請負契約の締結

●12月1日より議会議員、町長・副町長・教育長、職員の期末手当を、年間0・05月分の減額とします。

●令和3年4月1日より東吾妻町第1号、第2号会計年度任用職員の期末手当を年間0・05月分の減額とします。

●契約相手：池原工業株式会社 代表取締役 池原 純 (東吾妻町)

●契約金額：6105万円

●契約相手：池原工業株式会社 代表取締役 池原 純 (東吾妻町)

### 物品購入契約の締結

国のGIGAスクール構想に伴い、管内の小

学生が一人一台使用する端末の購入契約。納入期限は令和2年12月25日

●契約金額：2825万3016円

●契約相手：東日本電信電話株式会社群馬支店

支店長 徳永 健太郎 (高崎市)

工事請負契約の締結  
大沢川に架かる、町道新井横谷松谷線の大沢橋補修工事。  
●契約金額：6105万円  
●契約相手：池原工業株式会社 代表取締役 池原 純 (東吾妻町)

### 質疑

**議員** 大沢橋の松谷側からのガードレールは、車の接触跡などが多く、傷

### 議事録(会議録)をホームページに掲載

議会の定例会・臨時会の議事録をホームページに掲載しています。

また、本会議の議事録、委員会や議員全員協議会の会議録は、閲覧できるよう議会事務局に備え付けています。

## 皆さんからの新たな請願・陳情

請願	継続審査	県有施設「群馬県ライフル射撃場」廃止の中止を求める請願書	群馬県ライフル射撃協会 会長 岡田榮三 紹介議員 竹淵博行	文教厚生常任委員会
陳情	採択	河川からの越水被害に関する陳情	サンワ（株） 取締役社長 藤井徹男	総務建設常任委員会
陳情	継続審査	父母による子どもの共同養育に関する陳情	ぐんま子ども愛育の会 会長 猪熊篤史	文教厚生常任委員会
陳情	採択	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書	群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 石関貞夫	文教厚生常任委員会

## 進展した請願・陳情

No.	陳情件名	採択議会	担当課	処理状況
1	坂上地区のバス運行に関する陳情	平成22年12月採択	企画課	完結
	⇒令和3年1月8日に坂上地区での新たなバス輸送サービス開始		坂上地区	
2	請願書 公衆用道路の拡幅改良について	平成23年6月採択	建設課	完結
	⇒令和2年度の工事にて完了		町道2279号線 (大戸 下宿地内)	
3	町道における通行危険箇所の改修に関する陳情 (内出区長)	令和2年3月採択	建設課	完結
	⇒令和2年度に維持工事を行い完了		川戸地区	
4	大規模自然災害発生時、行政の支援、指導の体制に関する件 (烏帽子区長)	令和2年3月採択	上下水道課	完結
	⇒飲料水は、応援要請により給水車の派遣を検討。町営以外の小水道等の場合、水道復旧は補助事業を活用してほしい。復旧についてはできる範囲で指導、支援をしていきたい			
5	陳情書 町道鳩の湯線の拡幅改良について	平成23年6月採択	建設課	処理中
	⇒令和2年度で工事完了予定		町道鳩の湯線	
6	萩生地区活性化拠点 観光案内看板・休憩所設置に関する陳情 (萩生地区活性化推進委員会)	平成26年12月採択	まちづくり推進課	処理中
	⇒観光協会と連携して、観光看板の年度内設置を進めている		萩生地区	
7	日向地区の町道並びに上本丸橋改修に関する陳情	令和元年9月採択	建設課	処理中
	⇒令和2年度から、町道本宿・日向線の舗装工事実施		町道本宿・日向線 上本丸橋	

# 請願・陳情一覧

No.	陳情件名	採択議会	担当課	処理状況	要望箇所
1	町道3005号線（本宿上の原）舗装工事のお願い	平成21年6月採択	農林課	処理中	町道3005号線 （本宿上の原）
2	町道程岩・堂ヶ沢線改修工事を求める陳情	平成22年12月採択	建設課	処理中	町道程岩・堂ヶ沢線 （泉沢地内）
3	「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金（農林水産省）」事業等導入促進に関する請願書	平成25年3月採択	まちづくり推進課	処理中	萩生地区
4	地元小規模零細事業者への東吾妻町公共施設の発注拡大に関する陳情	平成25年9月採択	まちづくり推進課	処理中	
5	陳情書（坂上地区からガソリンスタンドを無くさないために早急に対策を） （大戸診療所友の会）	平成25年12月採択	企画課	処理中	坂上地区
6	陳情書（坂上地区にガソリンスタンドを確保するため、事業者の確保と支援を） （坂上地区区長会長会）	平成25年12月採択	企画課	処理中	坂上地区
7	陳情書 町道新井・横谷・松谷線（厚田～三島間）の拡幅改良工事	平成26年3月採択	建設課	処理中	町道新井・横谷・松谷線 （厚田～三島間）
8	町道長寿園線の改良工事に関する陳情書（関谷区長）	平成27年3月採択	建設課	処理中	町道長寿園線 （本宿地内）
9	町道5085号線拡幅改良工事に関する陳情書	平成27年12月採択	建設課	処理中	町道5085号 （原町上野地区）
10	陳情書 公衆用道路の拡幅改良について（大戸上宿区長）	平成26年6月採択	建設課	未決	町道3068号線 （大戸上宿地内）
11	陳情書 町道5267号線の道路改良拡幅工事（辻区長）	平成26年9月採択	建設課	未決	町道5267号線 （郷原辻地内）
12	十二ヶ原第二畜産団地の排水について【請願】（植栗区長）	平成27年3月採択	農林課	未決	十二ヶ原
13	橋梁の架け替えと町道拡幅に関する陳情	平成27年9月採択	建設課	未決	町道岩下川中線 石上橋
14	東吾妻町弓道場の新設に関する陳情書	平成27年9月採択	社会教育課	未決	
15	安心して住み続けられる坂上地区づくりに関する陳情（トイレ・GS・直売所）	平成27年12月採択	まちづくり推進課	未決	本宿地区坂上 薬局付近
16	上信自動車道の開通に伴う発展政策提言の陳情書	平成27年12月採択	建設課	未決	原町地区
17	町道新井・横谷・松谷線拡幅のお願い	平成28年9月採択	建設課	未決	町道新井・横谷・松谷線 （三島唐堀地内）
18	東吾妻町立小学校におけるフッ化物洗口実施に関する陳情	令和元年9月採択	学校教育課	未決	
19	町道5242号線改良の請願	令和2年6月採択	建設課	未決	郷原地区

未決・・・どのような方法で行うか決定されていない

処理中・・・着手し進行中

## 『請願』『陳情』のしかた

### ◎請願・陳情とは

町政に対する皆さんの意見や要望を「請願」「陳情」として受け付けています。

東吾妻町議会議員の紹介があるものを請願といい、紹介のないものを陳情といいます。

### ◎請願・陳情の書き方と提出方法

#### ・受付締切日

定例会前に開かれる議会運営委員会の前日（土・日・祝日の場合は、その前日の午後5時15分まで）

#### ・提出先：議会議務局

#### ・必要記載事項

請願（陳情）の表題。請願（陳情）の趣旨、理由、提出年月日、請願（陳情）者の郵便番号、住所、電話番号、氏名、印  
なお、請願の場合は、紹介議員の署名（または記名押印）

あて先（東吾妻町議会議長）

・その他：邦文で記載してください。

# 7 議員が町政を問う

## 一般質問

このコーナーでの質疑応答は編集してあります。本会議中の正確なやり取りについては、町ホームページの会議録（3月中旬に掲載予定）をご覧ください。



SDGsのシンボル

**Q** SDGs（持続可能な開発目標）推進における我が町の取り組みについて

**A** 総合戦略の様々な施策に反映していく

**Q** 「誰一人取り残されない社会」という理念のもと、再生可能な資源のみを用いて、しかも環境に配慮しながら、将来に渡って持続可能な豊かな生活を目指すために設定されたのがSDGsである。SDGsの目標達成のためには町民に知って頂くことが極めて重要である。SDGs推進にどう取り組むか。

**A** SDGsはまちづくりの様々な施策と関連性があると認識している。第2期総合戦略の様々な施策に反映し、町が目指している「住民が誇りをもって暮らし続けられるまちづくり」を実現したい。

**Q** 貧困で生活に苦しむ人々に対する支援策は。

**A** 支援が必要な対象者を早期に発見し、必要な支援が受けられるよう努める。特に、子供の貧困には注意を払って支援していく。

**Q** すべての人に健康と福祉を推進するためには医師や医療従事者不足は深刻な問題であると思うが。

**A** 原町赤十字病院に対しては毎年補助金を

交付し、今年度より医師確保対策補助金を追加している。今後も地域医療の充実を図り、町民の健康を守っていく。

**Q** ジェンダー平等のため、行政職員や各委員会委員の女性割合の増加にどう取り組むか。

**A** 近年、女性職員が増加傾向にあるが、さらに促進していく。

**Q** 町で管理していない水道を使っている町民が高齢化や財政難により維持管理が難しくなった場合、町の対応は。

**A** そのような場合には最大限の支援が受けられ

るよう努めていく。

**Q** 公共施設に対する省エネ・再エネの利用推進や低炭素社会の実現のために、電気自動車の導入を進めるべきではないか。

**A** 公共施設への太陽光発電システム、LED照明器具や省エネエアコンを設置し、庁用車についてもハイブリッドカーの導入を進めているが、電気自動車の導入も検討する。

**Q** エネルギーの地産地消のために、薪ボイラーやストーブの導入を支援する考えは。

**A** 木材の使用を押し進める施策を検討したい。



こばやしこういち 議員 小林光一



# Q 地域おこし協力隊員に活躍してもらうためには

## A 町づくりに活躍してもらう様々な場面を考えたい

**Q** 彼らが残した成果を活かしたいが、テレメトリーと呼ばれる、猿に付けた発信器をアンテナを使って追跡する、群

**Q** 平成30年9月に着任した地域おこし協力隊員により猿の群れの観察と追い払い等が行われてきたが、昨年9月を持って退任した。隊員の活動により猿の群れの様子が把握され、捕獲や追い払いに大きな成果が得られたが現在どうなっているか。

**Q** 針葉樹林をドングリの実る森に変えていく環境政策に取り組むべきだと思うが。

**Q** 隊員の活動報告を活用して、放置された果樹や桑の木を伐採を地域住民と力を合わせて行っていくべきでは。

### 有害鳥獣対策は環境改善から



追い払いに使用する轟音玉

**A** 国の森林経営計画制度が開始され、町では今後所有者の意向調査を行い協力が得られれば広葉樹の植栽も行えると思っている。

### 地域おこし協力隊員がより輝けるために

**Q** 町のHPでは、おらがまちづくりプロジェクト要員として一名を募集しているが、ほかに求める要員はあるか。

**A** 有害鳥獣対策や観光振興、福祉関係など幅広く町づくりに携わる仕事について適任者を採用したい。

**Q** 自転車型ドロップコアガッタンの開設・運

営は隊員による成果が大きい。着任後の指導や、任期後の進路についてどうあるべきと考えるか。

**A** 任期満了後わが町に定任していただけるよう、担当職員によるフォローが重要と考える。

**Q** 鳥獣害対策について大きな研修成果をあげた例がある。定着にこだわらず、大学や研究機関と連携した活動を行い、成果を後任者に引き継ぐことにより、隊員もわが町もより成長していけるのではないか。

**A** 地域おこし協力隊員が大いに活躍できるような場面を提供していきたい。



ねづみつぎ 根津光儀 議員

# Q 被災時の被災者支援システム活用を

## A このシステムは大きな力を発揮するもので、導入を検討していく



あおやぎ 青柳はるみ議員

**Q** 被災者支援システムは、地方公共団体情報システム機構というところから無償で公開・提供されている。平時から支援台帳を整備することで災害時の迅速で正確な業務進行の確保や積極的な支援の展開ができる。メリットの大きいこのシ

ステムを導入すべき。

**A** 19号台風災害の反省を踏まえ、このシステムの導入を考えていきたい。導入実績のある自治体からの情報を参考に研究していく。

**群馬テレビのデータ放送の活用を**

**Q** 「うちの地域にはこんな魅力がある」と自ら戦略的に発信していく必要が出てきた。今、刻々と変わる社会情勢に対し、住民に情報発信するには、パソコンよりテレビのほうが広い世代に伝わりやすいのではないかと群馬テレビのチャンネルを選び、リモコンのdポ

タンを押せば時間に關係なくわが町の情報が流れる。継続的に情報発信し続けられる仕組みが分かれば、群馬テレビで情報を受け取る人も増えると思うが。

**A** スピード感を持って文字で伝えることができ、防災無線とはまた違った有効性があると考える。課題は視聴人数で費用対効果も視野に入れながら検討していく。

**乳がんグローブ導入を**

**Q** 自分で発見できる唯一のがんなので、髪の毛一本の段差でも発見できる自己触診乳がんグローブを配付し、啓発してほしい。

**A** グローブについて乳がん認定看護師の指導と共に配付できるように検討する。

**Q** 公共空き地の花植えボランティアの花壇に、グループ名の看板設置を。

花植えボランティアの活動



**A** 町を綺麗に彩る活動に対し、団体の希望を聞き設置していく。

乳がんグローブ



# Q 移住希望者へのハード・ソフト両面の受け入れ体制強化を

# A 町が空き家を借り受け、移住体験住宅とするモデル事業を準備中

**移住・定住促進の施策について**

**Q** 来年度予算に盛り込む予定の関連施策はどのようなものがあるか。

**A** 町が空き家を借り受け、移住体験住宅として貸し出すモデル事業を準備している。まずは「東吾妻を知ってもらう」取り組みを強化する。

**Q** 町内で古民家民泊施設が増えており、モデル事業と合わせ紹介し

移住希望者の選択肢を広げてはどうか。

**A** 古民家民泊施設が賑わっているという情報を得ている。施設側にも協力を仰ぎ検討したい。

**現在、無償の移住サポーターを有償に**

**Q** 今年度開始した移住サポーター制度は無償ボランティアでは荷が重い。サポーターの士気を下げないためにも、然

るべき研修を受けていた

**A** 指摘の通り、研修等でのスキルアップと有償も含め検討したい。

**Q** 各種研修を受け、一定の実績を上げた移住サポーターを町が移住コーディネーターとして認定し、その活動経費に総務省の当該交付金を活用してはどうか。

**A** 将来的にそのような体制の構築と交付金の活用も目指していく。

**農地バンク・農業指導者バンクの設置を**

**Q** 調査によると吾妻方面への移住希望者は農業に関心が高い。空き家バンク登録物件の近く

で田畑を紹介したり、指導者等も紹介できる等、空き家バンクに連動した「農地バンク」「農業指導者バンク」を創設してはどうか。

**A** 現在、地域産業連携分科会で新規就農支援について検討中。提案を参考にさらなる検討を進めたい。

**国や県の移住促進事業の有効活用を**

**Q** ①総務省「ふるさと回帰支援センター」

②同「地域おこし企業人制度」

③県の「Gターン倶楽部」など、国や県の移住促進事業を有効に活用すべきではないか。

**A** ①は移住サポーターの派遣等検討し、積極的に活用したい。

②は当町の課題と目的を明確化して計画する必要があり、今後、研究・検討したい。

③は内容を研究し当町に合う形を検討したい。



井上日出来議員



民泊施設に改修中の古民家

**Q** 学校給食は食育の要、果たすべき役割は

**A** 健全な食生活を実践できる人として成長を促すこと

**学校給食は生きた教材**

**Q** 食育は生きる基本であり知育、徳育、体育の基礎として位置づけられている。学校現場での食育教育の重点は何か。

**A** 子供達一人ひとりに様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得させ、健全な食生活を実践することができるとして成長を促すことが最も大きな役割である。

**Q** 学校給食は子供達への食事提供のみならず望ましい食習慣、生命や自然の尊重等学ぶべき教材として食育の要。給食センター事業を含めた現状と課題は。

**A** 本町の給食は非常に美味しいと子供達や教職員からも好評を得ている。特に安心・安全管理、衛生システムでは町独自に「異物混入対応力

「イドライン」を策定し、関係者全てが情報を共有し連携して取り組んでいる。「食物アレルギー」対応は任用職員の栄養士1名を配置。現在、アレルギー



原町小学校で給食を食べる児童



たかはしのりき 高橋徳樹 議員

対応を必要とする児童・生徒は52名おり、保護者から報告された個々の情報は中学卒業時まで組織的に管理されている。食材調達は地産地消サイクルが形成されることが望ましいが安定的調達を考えた場合、現状難しい点が多い。

**健全な食生活は朝食から**

**Q** 当町元氣プラン21でも朝ごはんから始める規則正しい食生活を推奨。朝食欠食率は。

**A** 特定の子供が常時欠食するわけではないが、小学校は概ね5%程度、中学校では概ね20%と把握している。

**Q** 給食センター厨房器具等の修理費、整備費が多いように思うが。

**A** 原町地区や東地区の給食調理場で使用されていた物も移設使用しており既に耐用年数に近づいている機器も多くある。

**Q** 国は毎年6月は「食育月間」毎月19日は「食育の日」、群馬では毎年10月24日は「学校給食の日」と定めている。これらの機会を活用し食育の存在意義を高めてほしいが。

**A** 稲刈り農業体験等取り組んでいるが、さらに食育を学ぶ授業を進めていきたい。

## Q 水道事業の課題と対策は万全か

### A 東吾妻町水道事業基本計画に沿って事業運営を進めていく



たかはしひろし  
高橋 弘 議員

Q 町では平成30年から10ヶ年を期間とする「東吾妻町水道事業基本計画」を策定し効率的な事業運営を目指すとの内容が、その内容は。

A 耐用年数を超過している施設が数多くあり、計画的な更新が必要である。基幹管路に重点を置いて更新を行い有収水量を向上させ経営効率の向上を図りたいが資金不足で思うように進んでいない。

Q 人口減少や節水型機器の普及で使用量が減り収益が悪化しているが今後の対策は。

A 経営の安定化に向け費用の削減と水

道料金の見直しを行い料金体系の変更なども検討する。現在、町の諮問機関である水道事業及び下水道事業運営会議を組織し水道料金改定等について準備を進めている。また、今後は近隣市町村との合同で広域化についても検討する必要があると考えている。

Q 町営以外の小水道組合等で管理している地域では高齢化、人口減少等により維持管理が困難になりつつあるがその対応は。

A 必要に応じ組合の意向調査を行い対応していきたい。施設改修などは、簡易水道等整備事業補助金の交付事業を活用してほしい。

## Q 有害鳥獣に対する取り組み対策は

### A 捕獲による個体群管理と被害防除管理を行っている

Q 猟友会員の高齢化、減少化傾向に伴う対策は。

A 平成30年度から狩猟免許及び猟銃の所持許可に係る経費を一部補助している。令和元年度はワナ免許二名、猟銃所持許可三名の方に補助を行った。

Q 当町で捕獲された野生イノシシからCSF（豚熱）の陽性が確認されたが感染対策は万全か。

A 防疫対策として各事業者は防護柵の設置を行った。町としては消毒用石灰等の配布を行っている。今後とも状況に応じ防疫対策として消毒用石灰、消毒薬等

の配布を行っている。

Q 高病原性鳥インフルエンザの感染が懸念されるが対策は。

A 飼養農家が家畜伝染病予防法で定められている飼養衛生管理基準に基づき消毒も行い防疫対策を講じている。



入口に消毒用石灰を撒いた飼養農家

Q

パートナーシップ制度の導入に関する  
当町の対応は

A

県内の動向もみて検討したい



しげのよしゆき  
重野能之議員

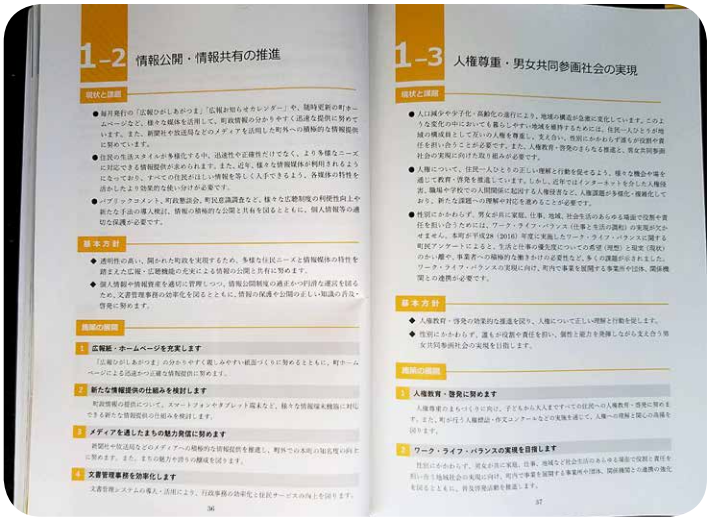
群馬県の山本知事は、LGBTなど性的マイノリティーの方々のカップルを公認する「パートナーシップ制度」の導入方針を示した。都道府県では茨城県と大塚町、さらに全国約60市区町村で導入されている。私達の人間社会では誰もが等しく人を愛し、愛される権利を有している。今回の県の方針は大切なことである。町長の見解は。

会の中にあるかもしれないが、誰もが自分の性を尊重されて、自分らしく生きられる社会へ向かうことが大切と考える。

県では「群馬パートナーシップ宣言制度」の導入に向けて、各市町村で提供可能な行政サービスと連携し、幅広い場面で対応できる制度にしていきたいと考えているようだ。町として現段階では県内の動向を見て

今後検討したい。LGBTの方が、職場で侮辱的な発言をされたりすることが問題となっており、政府もこうした行為がパワーハラ・スメントに該当するとの立場だ。昨年度からは、各企業の職場での状況などを調査する事業が予算化され動き出している。町内企業等の状況把握も今後必要になる。

「性差」を極端に否定する偏った教育や行政の事例もある。町長の見解は。ジェンダー平等という言葉があるが、男女がお互いの違いを認め合うことが真の平等と考える。このことは子ども達の教育でも必要な考え方と認識している。



人権尊重のまちづくりが、総合計画にも掲げられている

# 議案などの審議結果

第3回 臨時会（令和2年11月26日～27日）																				
議案名	議員名	出席者数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決日
						須崎幸一	渡一美	井上日出	高橋弘	茂木健司	高橋徳樹	里見武男	小林光一	重野能之	竹淵博行	佐藤聡一	根津光儀	樹下啓示	青柳はるみ	
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/26
東吾妻町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/26
東吾妻町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/26
東吾妻町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/26
東吾妻町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/26
物品購入契約の締結（GIGAスクール1人1台端末購入）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/27
工事請負契約の締結（大沢橋補修工事）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/27

第4回 定例会（令和2年12月4日～15日）																				
議案名	議員名	出席者数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決日
						須崎幸一	渡一美	井上日出	高橋弘	茂木健司	高橋徳樹	里見武男	小林光一	重野能之	竹淵博行	佐藤聡一	根津光儀	樹下啓示	青柳はるみ	
東吾妻町町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14
東吾妻町豊かな自然環境の保全及び利用の手続等に関する条例		14	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	11/14
東吾妻町特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		14	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	11/14
東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14
東吾妻町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14
令和2年度東吾妻町一般会計補正予算（第5号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14
令和2年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14
令和2年度東吾妻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14
令和2年度東吾妻町介護保険特別会計補正予算（第3号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14
物品購入契約の締結について（庁用バス）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14
あづま温泉桔梗館の指定管理者の指定		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14
あがつまふれあい公園の指定管理者の指定		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14
すこやかセンター福寿草の指定管理者の指定		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14
東吾妻町いわびつ体験農園の指定管理者の指定		14	11	2	可	-	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14
河川からの越水被害に関する陳情		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14
安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14
意見書の提出について（安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、／…退席 議長（1番）は採決に加わらないため「-」で表示

# 各委員会からの活動報告

## 総務建設常任委員会

12月7・8日と委員会を開きました。委員会の中では、坂上地区で始まる新たなバス輸送サービス、デマンドバス運行の住民ニーズに応えた運用について、また指定管理の公募の必要性、さらにデジタル化への取り組みとセキュリティなどについて質疑などがありました。

12月8日には陳情4号に関する現地調査を「サンワ株式会社群馬工場」



陳情に関する現地調査

にて実施しました。

コロナ禍で視察など制約もありますが、今後時間も有効活用し委員会活動を行っていきたいと考えております。

## 文教厚生常任委員会

10月28日に地域救急医療に関する調査研究として、吾妻広域消防本部の救急業務の視察及び原町赤十字病院に関する調査研究を行いました。

広域消防本部視察においては、平成30年の防災ヘリ墜落事故の犠牲者に対して1分間の黙祷の後、救急業務について聞き取り調査を行い、その後構内及び機器等の視察を行いました。

原町赤十字病院に関しては、あらかじめの質問送付に関して文書回答をいただきました。昨年4月より、救急科医1名が配置されたことにより、救急受け入れ率は100%近くに向上しました。

広域消防本部庭の防災ヘリ事故犠牲者慰霊碑前にて



このことにより、病院経営の改善につながりました。西吾妻福祉病院・消防との連携が強化され、さらに活動の検証や研修を調整中とのこと。

現状の救急医1名体制は活動に限度があり、前橋日赤や群大からの積極的支援、および2名体制への増強を望んでいること、医療スタッフについても不足しているのとことです。

新型コロナウイルス感染症等に関して、軽症・重症等の患者4名までを受

け入れる体制であることPCR検査は1日10名までが限度であることなどです。感染症対応により「人員配置への苦慮」「職員の疲弊」「資金繰りの不安」などが増大しているなか、国からの支援獲得に努力し、体制強化により地域に対し質の高い医療提供に努めるといっています。

## 議会運営委員会

10月26日および11月16日開催の議会運営委員会の中で、議会の映像配信について協議しました。まず10月26日には、9月議会の議員全員協議会で了解してもらった内容や、中之条町の資料等を基に協議を行いました。基本的にはこの事業を進めることになりました。この配信によりこれまで傍聴に來られなかった方にも議会活動を理解してもらうことができると思われます。



# 各委員会からの活動報告

## 行財政改革特別委員会

町有施設で当初の目的を達したり借地料が発生している施設等8か所を11月17日に現地視察しました。

○温川キャンプ場・あづま森林公園キャンプ場は美しく手入れしており、時代を経て当初の目的以外にも交流人口のため、またコロナ禍で自然の中で過ごす価値が高まっていることもあり、町の誇れる財産として光を当て考慮してほしいとの意見が多くありました。

○東吾妻活動センターで



不動産の湯源泉施設の調査

は、利用者さんの手仕事はすごい速さでびっくりしました。利用者が少ないことと建物の老朽化が課題であると認識しました。

○不動産の湯源泉では湯の温度が36度ほど。源泉を保つのに維持費がかかることと、2度のサウンディング調査を経て町は廃止の方向ということを確認しました。

定例会では個別施設計画の工程表・町有施設の借地一覧表を求め、主に町営住宅は築47年たち借地が多いことから土地の返還、集約を進めることを課題としました。

## 八ッ場ダム及び地域開発特別委員会

10月12日に「大柏木川原湯トンネル」の視察をおこないました。

トンネルが開通することにより、高崎から川原湯温泉の所要時間は2時間から1時間30分になり

## 大柏木川原湯トンネルの位置図



30分短縮されます。また、ダム周辺地域における住民の利便性の向上や観光振興に大いに役立つものと感じます。

ダム関連ではダム天端の右岸の管理用通路やダム下の減勢工橋梁が今年度末に完成とのこと。道の駅あがつま峡の利用状況については天狗の湯、直売所ともに昨年同様と比べると新型コロナウィルスの影響により大幅に利用者が減少。レールバイクアガタンの利用状況については7月か

ら11月までに延べ2925名の利用者があり、盛況であったとの報告を受けました。

## 議会広報特別委員会

11月20日、群馬県町村議会議長会主催の、議会広報研修会に参加しました。全国町村議会広報コンクール審査員の芳野政明氏を講師に迎え、「議会の『見える化』住民との信頼を築く」という内容でした。住民目線での紙面作りについて大変意義ある研修でした。当委員会もより一層努力して参りたいと思います。



議会広報研修会の様子

## 「須賀尾の思い出」

### 小林康子さん（須賀尾在住）

子どもの頃、地域の共同風呂であった鳩の湯に入っていました。近所のお年寄りと一緒に入り、いろんな話を聞かせてもらいました。昔、怪我をした鳩が留まり、この温泉で傷を癒したことから「鳩の湯」という名が付いたという話や「目の湯」は眼にいいんだよという話を今でもよく覚えています。正月に子どもたちが書初めをして近所にそれを見せに行くと、お菓子やお年玉をもらったりしました。ご近所のお年寄りにはとても優しくして頂いた思い出があります。近所の幼馴染とは川遊びで鰻（かじか）獲りもよくしました。地域の人々の結びつきがとても深い土地でした。

母親となって思うことは、この土地は自然が豊かで子育てには本当に良い環境だと感じます。またその反面、交通の便が良くないこと。将来の地域医療が維持できるのかどうか。子どもの数が減ってしまい、中学や高校へ進学した際、生徒数がいきなり増えたりして、子どもが戸惑うのではないかなど心配しています。また、この地区に店舗や交通網の整備をして、より住

みやすい地域になってくれればと願っています。

昨年、須賀尾で現在の店舗を構え、お弁当の宅配サービスを始めました。現在、コロナ禍の大変な状況ですが、お店では食品衛生の管理を基本として感染対策も含め、いつも以上に気を付けて対応しています。お陰様でお弁当の宅配サービスは逆に利用が増え、大変ありがたいと思っています。近所のお年寄りへ配達したときの「助かるよ」という声が仕事の励みになっています。坂上地区ではデマンドバスのサービスも始まり、コロナ収束後には、地域のお年寄りにお茶でも飲みにも立ち寄っていただきたいと思っています。



## 編集後記

コロナ禍の中、密を避けて換気のために窓を開け、コートを着ての編集となりました。

コロナ感染が収まらない中、不安を抱え過ごす毎日です。

基本的な三密回避とマスク、手指消毒に努め、自身の免疫を信じつつ、お互いに尊重し合っていきたいと

思います。

（青柳はるみ）

議会広報特別委員会

委員長 樹下 啓示  
副委員長 井上日出来  
委員 渡 一美  
委員 高橋 弘  
委員 茂木 健司  
委員 高橋 徳樹  
委員 青柳はるみ

### 議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は3月4日開会予定

#### 3月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 本会議	5 本会議	6
7	8 常委	9 常委	10 特委	11 特委 全協	12	13
14	15	16 本会議	17 本会議	18	19	20

※予定ですので、詳しくはお問い合わせください。  
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員  
全員協議会